

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス グリーンヒルキッズ・ジュニア		
○保護者評価実施期間	令和8年 3月 2日		～ 令和8年 3月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数) 18
○従業者評価実施期間	令和8年 3月 2日		～ 令和8年 3月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・学習支援	・生徒一人ひとりに対して、学習の進捗状況を考慮し、学習教材の提供を進める。 ・教員経験者を中心に、指導経験豊富な児童指導員が生徒指導に当たり、分かりやすい指導を進めている。	・高校進学、就職を見据え、保護者との面談・連携を密にして、一人ひとりに応じた学習支援体制を構築する。
2	・社会性の向上	・思春期を迎える生徒に対し、コミュニケーション能力や適切な物理的、精神的距離感を身につけられるよう、SSTを通して学ぶ機会を設けている。 ・中学、高校卒業後を見据えた、自立支援プログラムを作成、取り組んでいる。	・SSTを通して他者とのかわり方を学ぶ機会を作る。 ・学童や高齢者施設、地域との交流を通して社会性を身につける取り組みを行う。
3	・家族支援	・保護者からの相談・保護者自身のメンタルサポートをおこなっている。 ・必要に応じて関係機関との調整を行い、保護者の精神的な負担を軽減している。 ・月1回の保護者茶話会を開催し、情報共有や家族が孤立しない支援を行っている。	・学校、行政、他事業所等と連携を図り、一人ひとりのサポートを綿密なものにしていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・学習支援	・中学生への学習支援ができる職員が常駐すること。 ・指導領域が広範囲であり、指導も個別のため、生徒・保護者の要望に応えるのには限度がある。	・学習に集中できる環境作りを設定する。 ・個別指導に対応できる職員を増員する。 ・教材研究を行い、子どもの興味関心の幅が広がる支援につなげる。 ・職員の研修時間の確保をする。
2	・社会性の向上	・相手の話を聞き、アサーティブな会話ができるようSSTを通じて学ぶ機会を設ける。 ・地域との交流を増やしたいが、平日は放課後で時間が取れない状況である。 ・相手の気持ちがわかり、自分の言葉で気持ちを伝えることができる社会性を身につける。	・自立に向かい、公共機関を使って外出するなど、他者との関わりを増やし、その場に応じた判断ができるようなプログラムを組み込みたい。 ・思春期における距離感の取り方を学び、円滑な他者との関係が構築できるようになる。
3	・家族支援	・保護者との信頼関係の構築が必須である。 ・保護者のメンタルに応じるためのスキルアップが必要だが非常にむずかしい。	・県の行政機関や八千代市の福祉機関を利用することを促し、保護者の気持ちに寄り添えるように支援する。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービス グリーンヒルキッズ・ジュニア

公表日 2008年4月15日

利用児童数 20

回収数 18

	チェック項目	はい	どちらとも いいえ		わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	いいえ			
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	15	3				
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	15	2		1		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	14	1		3		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	14	3		1		
適切な 支援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	15	3				
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	17			1		
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	13	2		2		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	12	2		4		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	16			2		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	14	3		1		
保護者 への 説明等	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	13	4	1			
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	18					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	16	2				
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	16	2				
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状態について共通理解ができていると思いますか。	15	2		1		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	14	4				
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	15	3				
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	14	4				
	19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	15	2				
	20 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	15	2				
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	15	2				
非常 時 等 の 対 応	22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	16			1		
	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	11	2		4		
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	13			4		
	25 事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	14	3				
	26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	14	2		1		
	満足 度	27 子どもは安心感をもって通所していますか。	16	1			
28 子どもは通所を楽しみにしていますか。		17					
29 事業所の支援に満足していますか。		17					

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
放課後等デイサービス グリーンヒルキッズ・ジュニア		8 年 4 月 15 日			
チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	3	活動内容や時間等により、場を区分するようになっている。	身体の大きな生徒もいることから、場の取り方をより一層工夫していく。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	1	適切な人員配置をしている。	休暇を取るための補助要員がいるとなお良い。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	0	一日の流れを表示するなど、わかりやすくしている。バリアフリーも適切に対応している。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	0	日々清掃を行い、清潔に保っている。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	2	仕切った空間を用意し使えるようにしている。	個別の部屋になっていると、なお良い。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	2	常時活動内容を見直し、職員同士で話し合いの場を設けている。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	保護者アンケートの結果を検討し、可能な箇所から順次改善を図っている。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	会議の際に職員の意見を聞く場を設けている。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8	0	適切の実施している。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	6	2	研修を適宜行い、参加している。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	1	活動内容は事前に知らせたり、連絡帳等を利用して伝えている。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	1	6ヶ月毎にモニタリング実施、保護者との面談を行いながら放課後等デイサービス計画の作成をしている。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	1	月例会議等を通して、職員の意見を集約し、共通理解を図っている。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	1	月例会議等で、計画、現状の話し合いを重ねている。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	1	日々、子ども達の様子について話し合い、記録の作成に生かしている。	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	1	項目を踏まえ、支援計画を作成している。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	1	行事計画を作成の上、職員間で相談の上取り組んでいる。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	1	日々の活動内容について、生徒の実態を踏まえ、職員と相談の上決めている。	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8	0	放課後等デイサービス計画を作成し、支援手順などを必要に応じて作成している。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0	特に個別対応が必要な児童に対しては、前日に細かく打ち合わせをしている。	
21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点を共有しているか。	6	2	支援終了後の打ち合わせは必ず行い、振り返り直し・検討を行っている。		
22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	記録を細かく記入し、一人ひとりの支援に生かしていく。		
23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	2	児童の成長や新たな課題について職員間で共有検討し、内容の見直しを行っている。		
24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	6	2	基本活動を組み合わせて支援を行っている。		
25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定を促す力を育てるための支援を行っているか。	7	1	学習、遊び等活動を単一に決めるのではなく、選択肢を用意し、自分で決められるようにしている。		

関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	1	管理者が参加している	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	2	必要に応じて連絡を取り、良好な関係を築いている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	1	送迎時や行事等は、学校が配布する手紙で確認し、利用申請書と照合している。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	1	該当生徒なし。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	1	該当生徒なし。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7	1	積極的に外部の専門研修などを受講している。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6	2	グリーンヒル八千代台での活動等を利用し、学童児童等との交流をもつ機会を設けている。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	8	0	八千代市自立支援協議会こども部会に法人として参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	日頃から送迎の引き渡し時や連絡帳等で伝えている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	2	日々の様子を共有する中で、保護者の課題に寄り添うよう努力をしている。	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	1	契約時に伝えている。必要に応じて、随時伝えるようにしている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	1	個別に行う面談を随時受け入れており、保護者にも周知している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	1	適切に対応している。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	1	随時相談事を受け入れ、必要に応じて面談や電話相談に対応している。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、まようだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	7	1	茶話会を開催し、事業所の様子を伝えるとともに、保護者同士の情報共有、交流の場となるようにしている。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0	職員間で発生原因と改善策を話し合い、迅速に対応している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	0	利用申請書を利用して伝えている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	書類やPC、USB等は持ち出さない。保管場所も決め、徹底している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	こどもの行動の前後の様子から、思いを読み取るよう努力している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	2	単独では難しいので、グリーンヒル八千代台での活動等で同時開催したり、夏イベントで招いている。（今年度は雨天中止）	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	1	職員間では研修で周知している。	保護者への周知が徹底されていない。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	1	避難訓練は定期的に行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	1	契約時に保護者と確認をしている。変更等がある場合には「随時保護者の説明を聞いている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	1	一覧表にしてまとめている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	2	研修等を職員に対し行い、安全に配慮した支援を行っている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	2	支援計画の周知の際に、伝えている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	2	記録を残し、事例検討を行っている。その予防について、全員で周知している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	虐待防止研修を行っている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	2	身体拘束禁止等のマニュアルを作成して職員への周知徹底をしている。身体拘束に該当する生徒なし。	